



真嘉比小だより

10月

令和5年10月2日発行
那覇市立真嘉比小学校
片平 雅明

チャレンジ!

生活目標 (10月)
動作を機敏にしましょう。
保健目標 (10月)
目の健康について考えよう。

二期作 8月31日(木)に5年生は本校16代校長小川喜美江さん・青年会の諫山さんを招いて二期作の田植えを行いました。小川さんは石垣島にお住まいで、今回わざわざ来校し、指導・翌日の講話も行っていただきました。苗や肥料も石垣から送っていただきました。ありがとうございます。稲作に関する学習をまとめて11月に行われる八重山の学校の稲作体験学習サミット(仮)にリモートでの参加予定です。



校内研修(研究授業)

9月22日(金)に3年2組で研究授業が行われました。外国語活動の授業で「どんな食べ物が好きかを尋ねたり、答えたりする」活動でした。ペアで好きなものを尋ね合わせて、更にペアを変え、繰り返し尋ね合わせることによって、子どもたちは自信を付け上手になっていきました。



田植えを終えて・・・所感

これからますますAIなどの科学技術が発達し、人々の行いによって環境も良くなり、人間にとって優しい社会になっていくでしょう。そこでは、快適に生活するため余計なものをそぎ落とし、必要最小限のものしかない社会になり、もしかしたら自然もなくなっていくかもしれません。

しかし、人間というものの中には、おそらく理屈の世界だけではない身体感覚的なものから物事を理解したり共有したりする、そうした能力が間違いなくあるはず。その劣化というものは、むしろ論理的思考力そのものをも低下させていくのではないかとこの危機感を持っています。

また、優れた科学者やノーベル賞を受賞した方々の話を聞きますと、彼らは、幼少時代に野山で遊んだ経験が、今のノーベル賞に値するような発想の原点だとおっしゃっています。よって、幼少期の自然体験はとても大切なのではないかと思えます。5年生は石川青少年の家での自然教室で自然体験をしたり、田植え前に藻をとったり、水をはかしたり、と準備をし、田うえでは田んぼの中に入り、泥だらけになり、肌で感じ何かを得たことでしょう。都会の中の本校ではありますが、このような体験ができる

のは幸せなことなのではないでしょうか。



童話・お話大会 9月8日(金)

にPTA主催の校内童話・お話大会が行われました。残念ながらお話の部の出場者はいませんが、童話の部では1年のT.Yさんと3年生のM.Mさんが出場しました。5分ほどの童話を覚えて、それを発表するのはとても難しいことですが、2人ともきちんと発表することができました。M.Mさんは、学校代表で26日(火)に行われた真和志北ブロック大会に出場しました。

10月の行事予定

1日(日)	やる気・元気・旗頭フェスタ
4日(水)	表彰朝会 SC来校
6日(金)	一学期終業式【4校時日課】
7日(土)	秋季休業日～15日
9日(月)	スポーツの日
16日(月)	二学期始業式
18日(水)	SC来校
22日(日)	PTA作業(2・4・6年)
25日(水)	音楽朝会
28日(土)	修学旅行(6年)～29日
30日(月)	修学旅行振替休日(6年)～31日